

2008年1月28日

文部科学省科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成事業
独立行政法人森林総合研究所

「応援します！家族責任を持つ女性研究者」

第1回公開 シンポジウム

基調講演

人類の将来と男女共同参画

原 ひろ子 (お茶の水女子大学名誉教授)

1

1. 男女共同参画の必要性

- 1) 人類史と西欧的近代
- 2) 男女共同参画推進に関する国内外の動き
- 3) 日本の現状
- 4) 日本政府への働きかけ
(日本学術会議等における女性研究者地位向上のための取り組み)
- 5) 内閣府・男女共同参画会議での取組

2

1) 人類史と西欧的近代

文化人類学における女性研究

1970年代「差別」の糾弾

公 = 男性 : 私 = 女性
文化 = 男性 : 自然 = 女性

1980年代「男女差」「差別」の関連の追及

女性と男性を視座に含めた
人類社会や文化の諸相の
知的研究

近代

母性 = 女

産む、育てる
弱者をいつくしむ

家事作業
単純労働

父性 = 男

権威の象徴
人生の達成目標
知的創造

社会的活動
地位

3

いま、なぜ女性に注目が...

1. 人権思想と、平等思想

平等思想

階級差別
人種差別
男女差別
その他のあらゆる差別

の否定

人権思想

基本的人権、個人の人格の尊重

2. 西欧の相対化

3. 男性中心の 社会観の相対化

4. 生活者としての視点

文化の接触

非西欧社会
A

非西欧社会
B

西欧社会
X

西欧社会
Y

4

2) 世界人権宣言 と 国際婦人年以降の 男女共同参画推進に関する国内外の動き

	国連の動き	日本の動き
1948	世界人権宣言(人種・性による差別の撤廃)	
1975	国際婦人年 国際婦人年以降世界会議「世界行動計画」採択	婦人問題企画推進本部設置 婦人問題企画推進会議開催
1977		国連の要請により「国内行動計画」策定
1979	国連第34回総会「女子差別撤廃条約」採択	
1980	「国連婦人の十年」中間年世界会議「国連婦人の十年後半期行動プログラム」採択	
1981		「国内行動計画後期重点目標」策定

5

	国連の動き	日本の動き
1985	「国連婦人の十年」ナイロビ会議「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」採択	「国籍法」改正 「男女雇用機会均等法」公布 「女子差別撤廃条約」批准
1986		婦人問題企画推進本部拡充:構成を全省庁に拡大 婦人問題企画推進有識者会議開催
1990	国連婦人の地位委員会拡大会期 国連経済社会理事会「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略に関する第1回見直しと評価に伴う勧告及び結論」採択	
1991		「育児休業法」公布
1993	国連第48回総会「女性に対する暴力の撤廃に関する宣言」採択	
1994	科学における女性の参画の重要性	男女共同参画室設置(総理府) 男女共同参画審議会設置 男女共同参画推進本部設置
1995	第4回世界女性会議「北京宣言および行動綱領」採択	「育児休業法」改正(介護休業制度の法制化) 「男女共同参画ビジョン」策定

6

	国連の動き	日本の動き
1996		男女共同参画推進連携会議発足 「男女共同参画2000年プラン」策定
1997		男女共同参画審議会設置 「男女雇用機会均等法」改正 「介護保険法」公布
1999		「男女共同参画社会基本法」公布、施行 「食料・農業・農村基本法」公布、施行
2000	国連特別総会「女性2000年会議」 (北京+5)	「男女共同参画基本計画」策定
2001		内閣府・男女共同参画会議設置、男女共同参画 局設置 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に 関する法律」施行 第1回男女共同参画週間 閣議決定「仕事と子育ての両立支援の方針につ いて」
2002		アフガニスタンの女性支援に関する懇談会開催

7

	国連の動き	日本の動き
2003		男女共同参画推進本部決定「女性のチャレンジ支 援策の推進について」
2004		男女共同参画推進本部決定「女性国家公務員の 採用・登用の拡大等について」 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関 する法律」第2次改正及び同法に基づく基本方針 策定
2005	国連「北京+10」世界閣僚級会合	「男女共同参画基本計画(第2次)」策定 「女性の再チャレンジ支援プラン」策定
2006		男女共同参画推進本部決定「国の審議会等におけ る女性委員登用の促進について」 「男女雇用機会均等法」改正 「東アジア男女共同参画担当大臣会合」開催
2007	国連婦人の地位委員会会議優先 テーマ 「女児に対するあらゆる形態の差別 と暴力の撤廃」	

8

3) 日本の現状

HDIとGEMの国際比較

HDI (人間開発指数)

Human Development Index

1. 長寿を全うできる健康的な生活

--- 平均寿命

2. 教育

--- 教育水準(成人識字率及び就学率)

3. 人間らしい生活

--- 調整済み一人あたり国民所得

GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数)

Gender Empowerment Measure

女性が政治・経済活動に参加し、意志決定に参加できるかを測る指数
(女性の能力の活用)

女性の割合

--- 国会議員

--- 専門職、技術職

--- 管理職

HDIとGEMの国際比較 (1~18位) 出典 (UNDP Report 2007/2008)

(1) HDI (人間開発指数)

(2) GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数)

順位	国名	順位	国名
1	アイスランド	1	ノルウェー
2	ノルウェー	2	スウェーデン
3	オーストラリア	3	フィンランド
4	カナダ	4	デンマーク
5	アイルランド	5	アイスランド
6	スウェーデン	6	オランダ
7	スイス	7	ベルギー
8	日本	8	オーストラリア
9	オランダ	9	ドイツ
10	フランス	10	カナダ
11	フィンランド	11	ニュージーランド
12	アメリカ	12	スペイン
13	スペイン	13	オーストリア
14	デンマーク	14	イギリス
15	オーストリア	15	アメリカ
16	イギリス	16	シンガポール
17	ベルギー	17	アルゼンチン
18	ルクセンブルク	18	フランス
19	ニュージーランド	19	アイルランド
20	イタリア	20	バハマ

HDI: 日本
8位/177ヶ国

HDIとGEMの国際比較(41～54位)

(1) HDI (人間開発指数)

(2) GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数)

順位	国名	順位	国名
41	バーレーン	41	スロベニア
42	スロバキア	42	ブルガリア
43	リトアニア	43	エクアドル
44	エストニア	44	タンザニア
45	ラトビア	45	フィリピン
46	ウルグアイ	46	メキシコ
47	クロアチア	47	ホンジュラス
48	コスタリカ	48	キプロス
49	バハマ	49	パナマ
50	セーシェル	50	ハンガリー
51	キューバ	51	モーリシャス
52	メキシコ	52	ベトナム
53	ブルガリア	53	ドミニカ
54	セントキッツ・ネイビス	54	日本

GEM:日本
54位/95ヶ国

【資料】UNDP 「Human Development Report 2007/2008」(2007.11.27公表)

11

1. 男女共同参画の必要性

4) 日本政府への働きかけ

日本学術会議

NGO 「JAICOWS」 (1995年1月)
女性科学研究者の環境改善に関する懇談会 の設立
Japanese Association for the Improvement of
Conditions of Women Scientists

1994(平成6)年5月26日(第118回 総会)

声明 女性科学研究者の環境改善の緊急性についての提言

1994年7月～ 第16期 女性会員1名のみ(島田淳子氏)

1998～2000年(第17期)

「女性科学者の環境改善の特別推進委員会」(尾本恵市委員長)設置

2000(平成12)年6月8日(第132回 総会)

要望 女性科学者の環境改善の具体的措置について

声明 日本学術会議における男女共同参画の推進について

12

内閣府・総合科学技術会議と 科学技術基本計画

平成7年11月「科学技術基本法」 制定

第1期科学技術基本計画（平成8～12年）1996～2000

第2期科学技術基本計画（平成13～17年）2001～2005

科学技術会議からの働きかけ

2. 優れた成果の創出・活用のための科学技術システム改革

◇研究開発システムの改革

競争的資金の倍増、人材の流動性の向上、若手研究者の自立促進、
評価システムの改革、 などに加え

・多様なキャリアパスの開拓、優れた外国人研究者の活躍機会の拡大、

「女性研究者の環境改善」 が盛り込まれた。

13

内閣府・総合科学技術会議と 第3期科学技術基本計画

平成17年12月 「科学技術に関する基本政策について」 に対する答申

第3章 科学技術システム改革

1. 人材の育成、確保、活躍の促進

(1) 個々の人材が活躍する環境の形成

- ① 公正で透明性の高い人事システムの徹底
- ② 若手研究者の自立支援
- ③ 人材の流動性の向上
- ④ 自校出身者比率の抑制
- ⑤ **女性研究者の活躍促進**
- ⑥ 外国人研究者の活躍促進
- ⑦ 優れた高齢者の能力の活用

総合科学技術会議・
基本政策専門調査会

女性研究者採用
の目標25%

(理学系20%、工学系15%、
農学系30%、保健系30%)

平成18年3月28日 「第3期科学技術基本計画」 閣議決定

14

5) 内閣府・男女共同参画会議での取組

内閣府・男女共同参画会議と 男女共同参画基本計画

1999年 男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）

2000年 男女共同参画基本計画（第2次）

総理府



2001年 内閣府 男女共同参画局

2005年12月 閣議決定 男女共同参画基本計画（第2次）

→ 第3期科学技術基本計画

（平成18年度からの文科省施策はこれらを反映）

15

2. セックス／ジェンダー ／セクシャリティ



16

男のあり方 女のあり方

A

生物レベルで…
男に生まれるか、女に生まれるか

B

当該文化で…
期待する男・女の体格や行動

C

各個人が「B」に関して自分がどの程度
当てはまると考えているか、
外れていると考えているか

17

男のあり方、女のあり方について

生物としての差

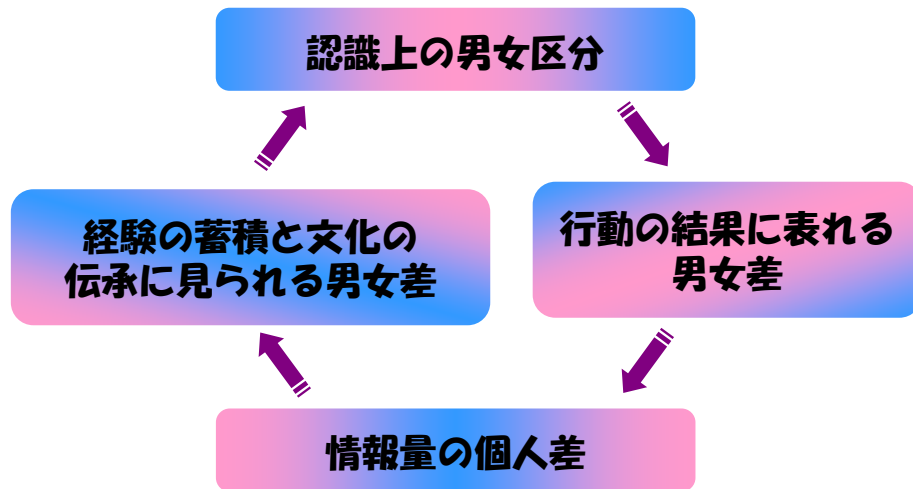
特定文化に見られる
男女のあり方に関する文化構造



その社会における
経済活動のあり方の変化
男女のあり方に関する思想の変化

18

男女差についての考え方と現実の行動



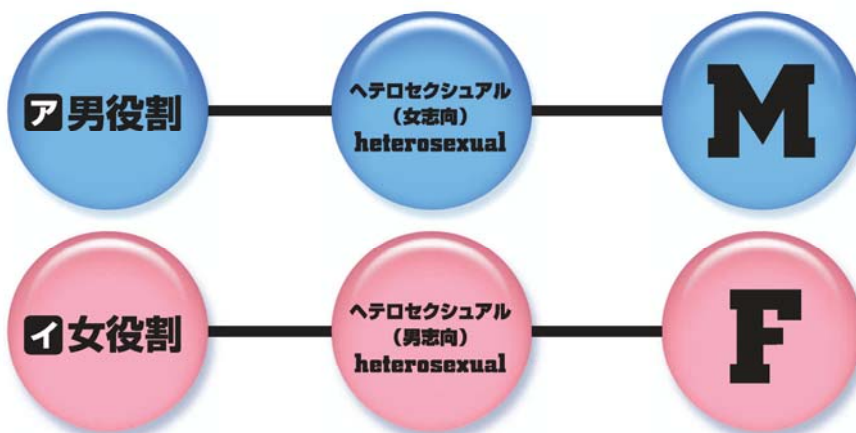
19

多くの人による「思い込み」

「ジェンダー状況」の例
性役割の演じ方

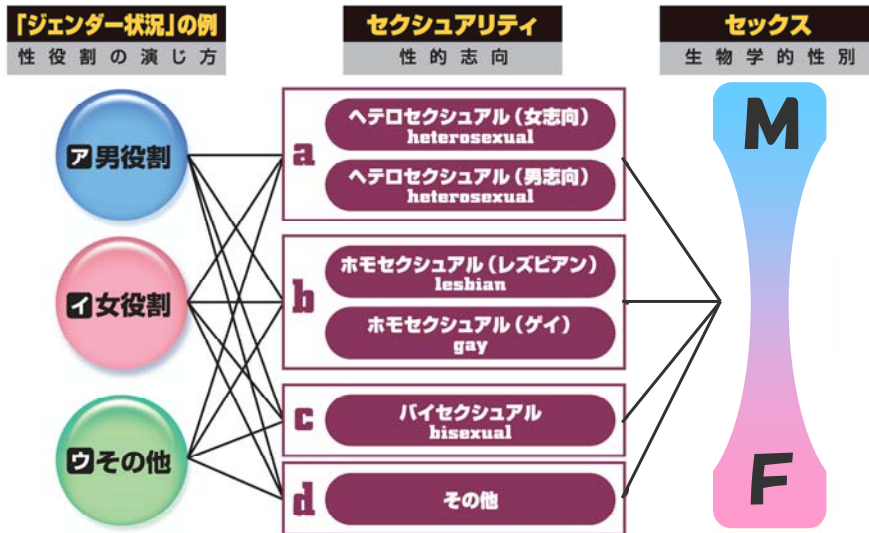
セクシュアリティ
性的志向

セックス
生物学的性別



20

ジェンダー・セクシュアリティ・セックスの相互関連 説明のためのひとつの試み 2



21

3. 文化人類学的視点から見た 男女共同参画

I. ヘヤー・インディアンの生活

- 1) ミウチ (必ずしも世帯をともにしない)、
...それでも家族
- 2) 子育ては、父や母の義務ではない。
- 3) 男女の分業

II. ヘヤー・インディアンの四季

22

- ・狩猟採集民族
- ・居住区:カナダのノース・ウェスト・テリトリー。
森林限界線に接する植生の貧困な地域。
- ・人口:約9万平方キロメートル(本州の4分の1弱)の地域に
300~500人。
- ・小グループに分散してキャンプし、常にテントで移動。

アラスカとカナダ西部に分布する 北アサバスカン語族



ヘアーインディアン
の居住地



25



ヘアーインディアン
マッケンジー河畔の生活

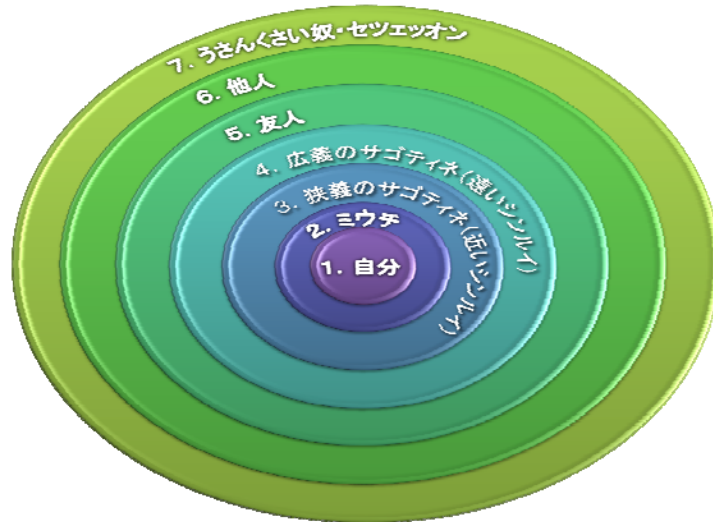
26



I. ヘヤー・インディアンの生活

- 1) ミウチ(必ずしも世帯をともにしない)、
...それでも家族
- 2) 子育ては、父や母の義務ではない。
- 3) 男女の分業

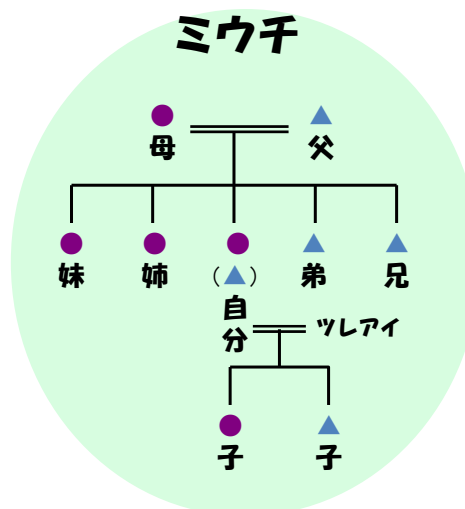
ヘヤー・インディアンの 個人をとりまく人々



29

I. ヘヤー・インディアンの生活

1) ミウチ (必ずしも世帯をともにしない)・・・それでも家族



テントの前の「一家」▶



30

「ミウチ」との関わり合い

近親相姦

遺体の埋葬

死者の遺体を埋葬し
てくれた人との関係

月経中の女の
道の進み方

妊婦が妊娠を
秘密にすると・・・

共同のテント生活

肉・魚・毛皮
の贈答



31

I. ヘヤー・インディアンの生活

2) 子育ては、父や母の義務ではない

- ・ 育てられる人が育てる。
- ・ 子育ては「仕事」ではなく「遊び」。
- ・ すべての人が、
すべての子どもに関心を持つ。
- ・ 子どもは、自分で育つとされる。
- ・ 教えられるより、
自分で覚える。



子守りをする男 ▲

◀ 子守りをする男の子

32

3) 男女の分業

皮を剥ぐ、皮をなめす、
交易する、修理する、
狩猟する etc



33



皮なめしの作業



34



ムースの収獲

35



魚網の修理 ▲

◀ 船の修理

36

日常生活の作業分担①

「仕事」である度合いと作業の担当者					
	「仕事」である度合い	男女どちらでもよい	どちらかといえば女	どちらかといえば男	備考
作業	大型獣の毛皮を剥ぐ	★★★★		●	どうしても男
	毛皮をなめす	★★★★	●	●	男の中に上手な人もいる
	毛皮や毛皮製品を店で交易する	★★★★			捕獲した者が交易する
	カヌーや犬ぞりを操縦する	★★★★	●	●	
	魚網・カヌー・そり・モーターの修理をする	★★★★	●	●	
	干魚を作る	★★★★	●	●	
	皮製のスリッパ・靴・手袋の縫製 ウールのパーカ縫製	★★★★		●	男の中に上手な人もいる
	テントの設営・閉鎖と防寒措置	★★★★	●	●	
	薪の伐り出し・薪割り	★★★★	●	●	薪割りは子供もする
	丸木小屋の掃除	★★★★	●	●	非日常的

37

日常生活の作業分担②

「仕事」である度合いと作業の担当者					
	「仕事」である度合い	男女どちらでもよい	どちらかといえば女	どちらかといえば男	備考
作業	水くみ（冬は氷運び）	★★	●	●	主に若者男女
	薪をテントに運ぶ ストーブに薪をつく	★★	●		主に子供
	血洗い・洗濯	★★	●	●	
	ボタン付け・ほころびの繕い	★★	●		
	肉・魚の調理 パノック（ホットケーキ）焼き	★	●		ほとんど味付けしない
	キャンプから交易所への買い物	★	●	●	
	嬰兒の世話	★	●	●	6歳以上の子供もする
	子守	「遊び」	●		
	どぶろくの仕込み	「遊び」	●	●	非日常的
	寝袋を広げ、たたむ	着脱衣と同じ	●		自分のをする

38



39



40



41



42



43



44





おわりに

人類の将来と男女共同参画

1. 生物多様性の保持と
地球温暖化への対応
2. 西欧的近代の問い直しを含む
新しい社会システムの
構築に向けて

